

乍恐以書付御慈悲奉願上候

小長谷大次郎知行所
武州橘樹郡上高田村

百姓仲藏
当寅三十二才

右之もの義、当二月二十八日大師河原大師江參詣致候處、
東海道川崎宿通り懸り折節行暮、殊ニ一人旅之儀ニ
御座候間、懇意之者方江相便り(頼)一宿致度ニ存罷在候處、
橘樹郡太尾村増五郎娘はた義途中ニ而出合候處、
同人義者同宿之内福本屋万吉方ニ一季奉公罷在、殊ニ
旅籠屋渡世之由ニ承り、左候得者同人方江罷越一宿致度
由頼入候處、一人旅ゆ(故)へ達而相断候得共、右はた義
主人万吉江申入候者、仲藏義者前々より懇意ニ而、既ニ
私村方与ハ隣村同様義ニ而聊紛敷者ニ無之由申ニ付、右
万吉義茂一宿為致候處、右増五郎娘はたを誘引
出し逃去候ニ付、主人万吉方より右之趣太尾村増五郎方江
申越候ニ付、同人義茂驚人、早速手配致所々相尋候處、
一向行衛相分り不申、右ニ付高田村仲藏方江茂
其段相断、早々尋出相返候様申之候得共等閑置候ニ付、

猶亦其後組合・親類之者共江再三懸合ニおよび候處、埒明
不申、右ニ付無拠村役人方江相断、是非茂無之次第ニ付、
組合大惣代方江申出、御取締御出役様御廻村先江
奉願上、未夕御尋中ニ有之候處、右仲藏義江戸表ニ罷居
候趣村方江通達有之、早速親類・組合見届ケニ罷越候處、
右仲藏・はた兩人同居罷居候ニ付、段々始終相尋候處、
仲藏義川崎宿江一宿致候節、江戸表江無拠用向有之由
申ニ付、右はた儀者下総国成田山江兼而心願有之、殊ニ此節
江戸表ニ而開帳茂有之候ニ付、同道致具候様達而相頼候ニ付、
一向心附不申同道致、日数之義茂(纏)譲一兩日之内帰村可致与
相心得罷越候處、右はた義途中ニ而病氣付候間、江戸
表懇意之者方江相便り(頼)薬用致居候處、日増ニ病氣
重体ニ罷成、右ニ取紛当惑致し、村方江一向不沙汰ニ致置
候ニ付、親増五郎儀茂御取締御出役様江奉願上、未夕
御尋中ニ有之奉恐入候、右ニ付高田村親類・組合・村役人より
太尾村親増五郎方江侘入候處、始終之事柄相分り、
然ル上者親増五郎茂疑惑相晴候間、右はた義ハ親
増五郎方江相返し、且亦仲藏心得違之儀者今更先非

後悔重々奉恐入候義ニ付、以来村方江立戻り候上者、
 家業相励、御趣意筋急度相守り候間、御下ケ相願
 呉候様私共江取継相願候間、右仲蔵義ハ私共江御引渡
 被成下候様奉願上候、且亦此上右はたヲ誘引出し
 逃去候歟、亦者不埒之儀出来致候ハ、私共より其御筋江
 相願候様仕度奉存候間、何卒格別之以御憐愍ヲ
 右願之通御聞濟被成下置候ハ、難有仕合ニ奉存候、仍之
 一同連印ヲ以御慈悲奉願上候、以上

天保十三寅年

四月

小長谷大次郎知行所
 武州橋樹郡上高田村

親類

八(印)

組合 嘉兵衛(印)

名主 喜兵衛(印)

伊奈半左衛門 御預所
 関保右衛門

武州橋樹郡北綱島村
 大惣代名主

助 太夫(印)

同 御預所

同州同郡神奈川宿
 寄場大惣代

同 源左衛門

関東御取締御出役
 太田源助様